



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 横 河 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 海 堀 周 造
コ ー ド 番 号 6 8 4 1 東 証 第 一 部
問 い 合 せ 先 コ ー ポ レ ー ト ・ コ ミ ュ ケ ー シ ョ ン 課 川 中 定
Tel 0422-52-5530

半導体テストビジネスの終息に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、メモリテストビジネスの韓国DHK Solution Corporation（以下 DHK）への事業譲渡、および非メモリテストビジネスからの撤退を決議しましたので、以下のとおりお知らせします。

半導体テストビジネス終息にあたっては、お客様への影響を最小にすべく努めてまいります。

1. これまでの経緯

当社は、平成21年度から進めてきた事業構造改革の一環として、半導体テストビジネスの事業構造改革に取り組んでまいりました。平成23年4月1日には、半導体テストビジネスを分社して横河テストソリューションズ株式会社を設立し、規模の最適化による固定費削減を通じて事業基盤の強化を図るとともに、メモリテスト、およびFPDドライバテストなどの非メモリテストの2分野で、開発済みテストの販売と、販売済みテストに対するソリューション提案活動に事業を絞り込んで赤字解消を目指してまいりました。しかしながら、長期的には単独での事業継続は困難と判断しており、当時から継続的に他社とのアライアンスを模索してまいりました。

その結果、メモリテストについては、韓国DHKに事業を譲渡することで合意しました。一方、FPDドライバテストなどの非メモリテストについては適当な提携先あるいは事業譲渡先を見出すことができませんでした。そのため、非メモリテストだけでは当社の中でビジネスを展開することは難しいと判断し、同ビジネスから撤退をすることといたしました。

半導体テストビジネス終息に向けた意思決定により、過去3年にわたる事業構造改革に一定の目途がつき、今後は市場の拡大が期待できる制御事業を中心に成長戦略を展開してまいります。

2. メモリテストビジネスの事業譲渡について

(1) 譲渡する事業

半導体テストビジネスのうちメモリテストの開発、設計、製造、販売、サービスに関わる事業

(2) 譲渡先

DHK Solution Corporation

※DHK Solution Corporationは、半導体製造設備代理店業をメインにする韓国の商社で、崔 明培氏が最大株主です。崔氏は、DHKとは別に、半導体テストの開発、製造及び半導体テストサービス事業を行う Exicon Co., Ltdを韓国で保有、経営しています。当社と崔氏はメモリテストビジネスで長年にわたる協力関係を持っています。

(3) 事業譲渡の基本スキーム

- ① 電子計測器ビジネス及び半導体テストビジネスを行っている当社の100%出資子会社である横河インスツルメンツ코리아株式会社から、メモリテスト以外のビジネスを、同じく当社の100%出資子会社である韓国横河電機株式会社に移管します。
- ② メモリテストビジネスのみを行う会社となる横河インスツルメンツ코리아が、DHKを対象とする 第三者割当増資を実施します。この結果、DHKは同社株式の90%を取得します。10%については横河電機が引き続き所有します。
- ③ 増資実行後、横河インスツルメンツ코리아は社名をYIKに変更し、横河テストソリューションズ他 YOKOGAWAグループの会社からメモリテストに関わる事業を譲り受けます。
- ④ YIKは、横河インスツルメンツ코리아でメモリテストビジネスに携わっている従業員の雇用を継続し、同ビジネスを継承します。また、同社は開発・設計を行う「YIK開発センター」を日本に新設し、そこに主として横河テストソリューションズから約50人が出向します。

(4) 譲渡日

譲渡日は、平成24年8月を予定しています。

なお、具体的な譲渡条件については、両社の合意により、公表を控えさせていただきます。

3. 非メモリテストビジネスからの撤退について

(1) 事業撤退のスケジュール

平成24年度中の撤退に向けて必要な手続きを進めてまいります。

(2) 保守サービス

販売済み製品の保守サービスは、YOKOGAWAグループが責任を持って継続して行ってまいります。

4. 従業員の処遇

横河インスツルメンツ코리아でメモリテストビジネスに携わっている従業員は、YIKに移籍します。

また、横河テストソリューションズの180名の従業員のうち、今回のメモリテストビジネスの譲渡でYIK開発センターに出向となる約50名を除く130名については、YOKOGAWAグループ内で再配置します。

5. 半導体テストビジネス終息に伴う経営への影響

半導体テストビジネスの終息に伴い、営業損失約12億円、特別損失約13億円の計約25億円を平成23年度の業績に計上済みです。

以上